



2011年12月9日

博報堂

「2011年度 PRアワードグランプリ」 博報堂グループが2部門で最優秀賞を獲得

社団法人日本パブリックリレーションズ協会主催の「PRアワードグランプリ」にて、博報堂グループが担当した2作品が、部門最優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

「PRアワードグランプリ」は、会員及び一般(会員外)各社から推薦・ノミネートされたPR・広報スキルの優秀な事例の中から、グランプリ1作品、部門最優秀賞4作品を選定・表彰するものです。

博報堂グループは2部門において最優秀賞を獲得いたしました。

受賞結果は以下のとおりです。

◆コーポレート・コミュニケーション部門 最優秀賞

「宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト『宇都宮プライド』～100年先も誇れるまちを、みんなで～」

【広告主】宇都宮市役所

【広告会社】博報堂、福島博報堂

【PR会社】オズマピーアール

【プロジェクト概要】

宇都宮市独自の価値・ブランドイメージを確立する都市ブランド戦略プロジェクト。市民が自分たちの住む街をもっと愛し、誇りに思うために、「宇都宮という街の価値」の「発見」、「共有」、「創造」を、市民とともに徹底的に実施。「住めば愉快だ、宇都宮」のキーメッセージを核に、「愉快なまち」のシーズをPR発信によって、市民の確信につなげることで、市民・企業・行政・団体が一丸となり、自ら進んで「愉快なまちづくり」に取り組み続ける大きなムーブメントを生み出している。

◆イノベーション部門 最優秀賞

「マーケティング3.0=世の中と企業が価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーイレブンプログラム」

【広告会社】博報堂

【PR会社】オズマピーアール

【プロジェクト概要】

PR発想からの統合的なコミュニケーションマネジメントプログラムの開発と実用化。プランニングから効果測定までのプロセスをプロサッカークラブのチームマネジメントに見立てたことで、今の時代に求められる情報コンテンツの開発やコミュニケーション活動によるブランドの評価、評判を関係者で共有しやすくしたプログラム。

<受賞作品スタッフリスト/受賞コメント>

◆「宇都宮市都市ブランド戦略プロジェクト『宇都宮プライド』～100年先も誇れるまちを、みんなで～」

【スタッフリスト】

(博報堂) ブランディング・プロデューサー：木下富美子

エグゼクティブ CD：村田徹、WS 企画プロデューサー：中野民夫、CD：石井康弘、

AD：青木康純、コピーライター：下東史明

(福島博報堂) 宇都宮オフィス長：菅野英樹、AE：熊田浩也

(オズマピーアール) PR ディレクター：高田太郎

(博報堂プロダクツ) プロモーション・プランナー：宇治大輔

【受賞コメント】

木下富美子：博報堂テーマ開発局

「自分の住んでいる街が好きだ。」と、市民ひとりひとりが本気で思っている街の商品は、魅力的で、訪れても楽しいはず。地域ブランドづくりは、そんなプラスのスパイラルを街に生み出すことだと思っています。もっともっと「住めば愉快」な街を目指して、市民の皆さんにはどんどん楽しんで欲しい。「これ、自分も参加したい!」と思ってもらえる楽しいきっかけをどれだけ沢山つくれるか?が私たちの知恵の見せどころだと思っています。



写真右：宇都宮市都市ブランド戦略室
篠原永知総括主査

◆「マーケティング 3.0=世の中と企業とが価値を共創する時代」のPR発想からの統合コミュニケーションプログラム「ヴィクトリーイレブンプログラム」

【スタッフリスト】

(博報堂関西支社) 統合戦略ディレクター：橋本真人

【受賞コメント】

橋本真人：博報堂関西支社統合ソリューション局

誰もがPRを口にする時代になりました。生活者と企業の内側とが対話しながら、幸せを共創する世の中へと向かっていることに合わせたコミュニケーションのシステムとして「ヴィイレ」がお役に立てればと思います。



写真中央：橋本真人